

地域福祉計画策定に際して実施した各種アンケート調査結果

- (1) 障がい者計画及び地域福祉計画策定のための意識調査～一般市民対象～
- (2) 令和5年度市民意識調査（地域福祉に関する質問項目抜粋）
- (3) 地域福祉活動に関するアンケート調査～民生委員・児童委員対象～
- (4) 地域福祉活動に関するアンケート調査～相談支援機関対象～

地域福祉推進に向けたアンケート調査結果

(障がい者計画及び地域福祉計画策定のための意識調査 ～一般市民対象～)

【目的】 第1期西之表市地域福祉計画及び第4期西之表市障がい者計画・第7期西之表市障がい福祉計画・第3期西之表市障がい児福祉計画の策定にあたり、「地域共生社会の実現」に向けての市民の皆さんの意見を伺い、計画策定の基礎資料とする。

【調査期間】 令和5年4月25日～5月15日（市民意識調査と同時実施）

【調査対象者数】 1,217人（18歳以上人口の10%）

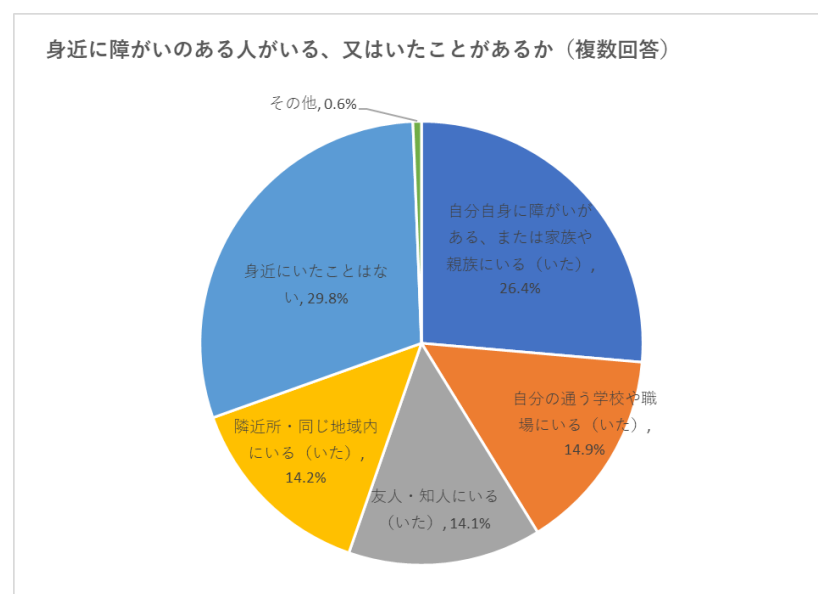
【回答者数】 714人（ネット回答181人）

【回答率】 58.7%（25.4%）

***** 調査結果は以下のとおり *****

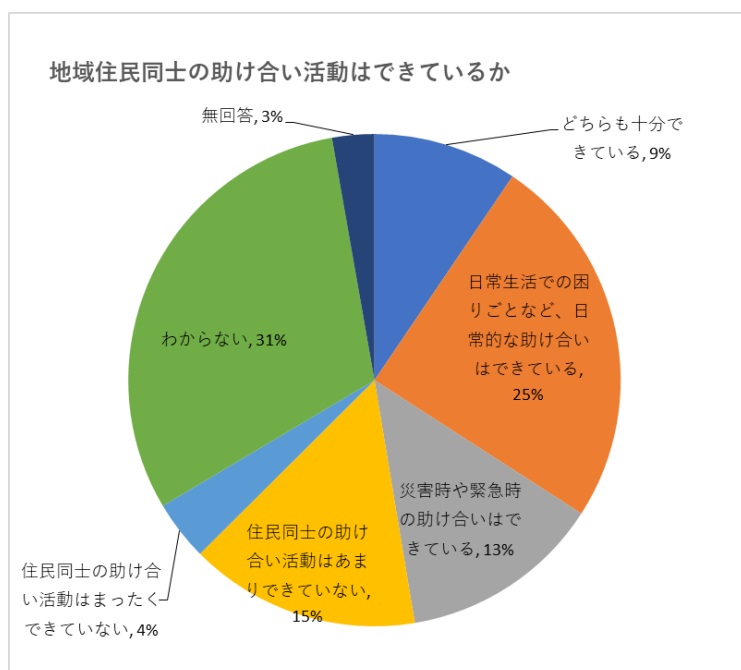
問1 あなたの身近に障がいのある人はいますか。または、これまでいたことがありますか。当てはまるもの全てに○印をつけてください。

選択肢	回答数	割合
自分自身に障がいがある、または家族や親族にいる（いた）	213	26.4%
自分の通う学校や職場にいる（いた）	120	14.9%
友人・知人にいる（いた）	114	14.1%
隣近所・同じ地域内にいる（いた）	115	14.2%
身近にいたことはない	241	29.8%
その他	5	0.6%
計	808	100.0%



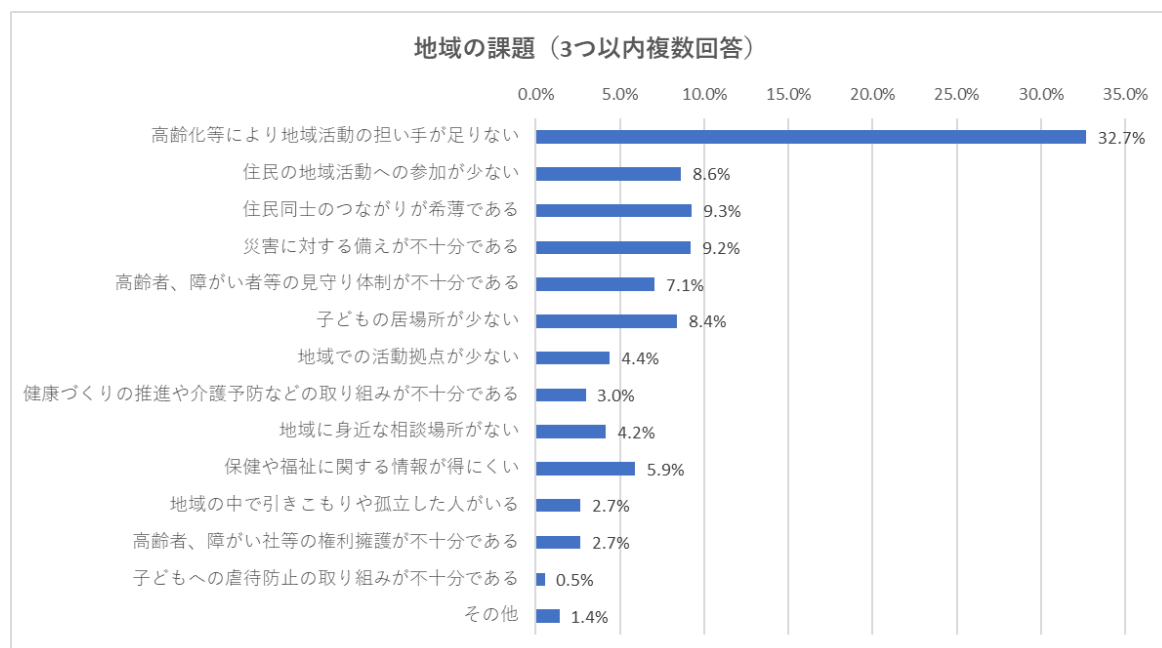
問2 あなたが住んでいる地域では、日常生活での困りごとの解決や災害時・緊急時に住民同士で助け合う活動ができていますか。

選択肢	回答数	割合
どちらも十分できている	65	9.5%
日常生活での困りごとなど、日常的な助け合いはできている	169	24.6%
災害時や緊急時の助け合いはできている	91	13.3%
住民同士の助け合い活動はあまりできていない	104	15.2%
住民同士の助け合い活動はまったくできていない	27	3.9%
わからない	211	30.8%
無回答	19	2.8%
計	686	100.0%



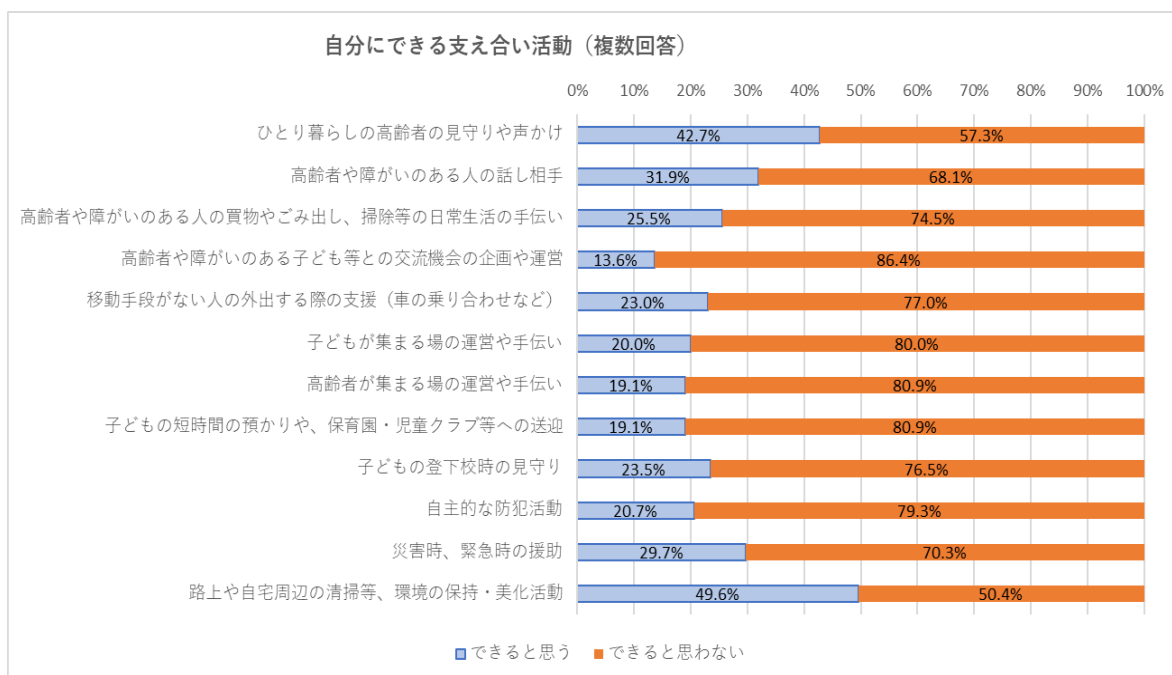
問3 地域の問題点や課題はなんだと思いますか。当てはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

選択肢	回答数	割合
高齢化等により地域活動の担い手が足りない	416	32.7%
住民の地域活動への参加が少ない	110	8.6%
住民同士のつながりが希薄である	118	9.3%
災害に対する備えが不十分である	117	9.2%
高齢者、障がい者等の見守り体制が不十分である	90	7.1%
子どもの居場所が少ない	107	8.4%
地域での活動拠点が少ない	56	4.4%
健康づくりの推進や介護予防などの取り組みが不十分である	38	3.0%
地域に身近な相談場所がない	53	4.2%
保健や福祉に関する情報が得にくい	75	5.9%
地域の中で引きこもりや孤立した人がある	34	2.7%
高齢者、障がい者等の権利擁護が不十分である	34	2.7%
子どもへの虐待防止の取り組みが不十分である	7	0.5%
その他	18	1.4%
総計	1,273	100.0%



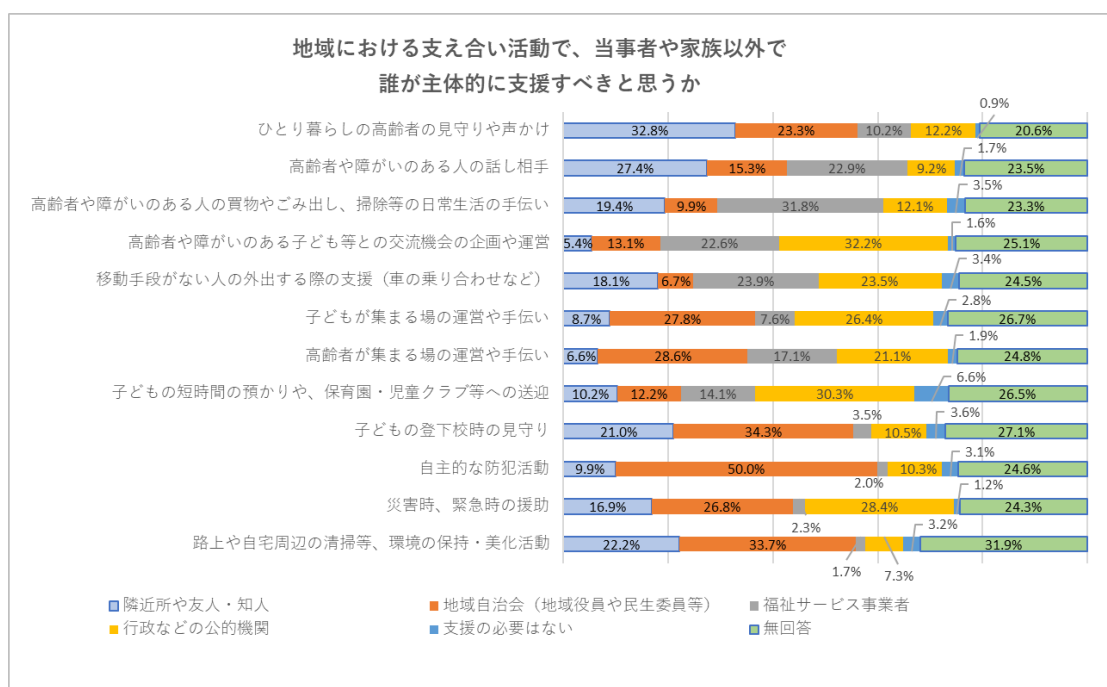
問4 (1) 地域における支えあい活動として、あなたはどのようなことができますか。
以下の項目でできると思うことには全てに○印をつけてください。

No.	項目
1	ひとり暮らしの高齢者の見守りや声かけ
2	高齢者や障がいのある人の話し相手
3	高齢者や障がいのある人の買物やごみ出し、掃除等の日常生活の手伝い
4	高齢者や障がいのある子ども等との交流機会の企画や運営
5	移動手段がない人の外出する際の支援（車の乗り合わせなど）
6	子どもが集まる場の運営や手伝い
7	高齢者が集まる場の運営や手伝い
8	子どもの短時間の預かりや、保育園・児童クラブ等への送迎
9	子どもの登下校時の見守り
10	自主的な防犯活動
11	災害時、緊急時の援助
12	路上や自宅周辺の清掃等、環境の保持・美化活動



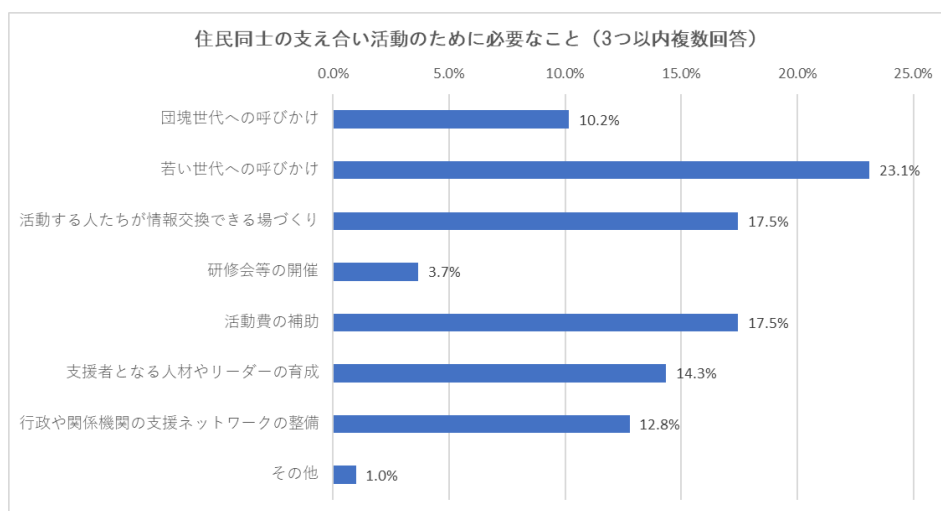
(2) また、各項目について、当事者や家族以外で、誰が主体的に支援すべきと思いますか。当てはまると思うものに○印をつけてください。

No.	項目	隣近所 や友人・知人	地域自治 会(地域役 員や民生 委員等)	福祉サ ービス 事業者	行政など の公的機 関	支援の必 要はない	無回 答
1	ひとり暮らしの高齢者の見守りや声かけ	32.8%	23.3%	10.2%	12.2%	0.9%	20.6%
2	高齢者や障がいのある人の話し相手	27.4%	15.3%	22.9%	9.2%	1.7%	23.5%
3	高齢者や障がいのある人の買物やごみ出し、掃除等の日常生活の手伝い	19.4%	9.9%	31.8%	12.1%	3.5%	23.3%
4	高齢者や障がいのある子ども等との交流機会の企画や運営	5.4%	13.1%	22.6%	32.2%	1.6%	25.1%
5	移動手段がない人の外出する際の支援(車の乗り合わせなど)	18.1%	6.7%	23.9%	23.5%	3.4%	24.5%
6	子どもが集まる場の運営や手伝い	8.7%	27.8%	7.6%	26.4%	2.8%	26.7%
7	高齢者が集まる場の運営や手伝い	6.6%	28.6%	17.1%	21.1%	1.9%	24.8%
8	子どもの短時間の預かりや、保育園・児童クラブ等への送迎	10.2%	12.2%	14.1%	30.3%	6.6%	26.5%
9	子どもの登下校時の見守り	21.0%	34.3%	3.5%	10.5%	3.6%	27.1%
10	自主的な防犯活動	9.9%	50.0%	2.0%	10.3%	3.1%	24.6%
11	災害時、緊急時の援助	16.9%	26.8%	2.3%	28.4%	1.2%	24.3%
12	路上や自宅周辺の清掃等、環境の保持・美化活動	22.2%	33.7%	1.7%	7.3%	3.2%	31.9%



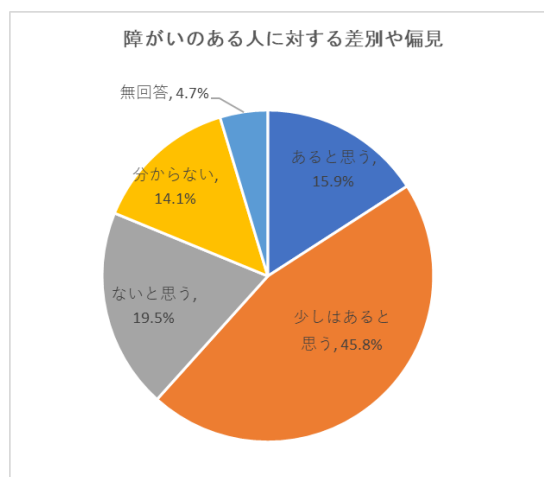
問5 地域住民同士の支えあいによる活動の輪を広げていくために必要なことは何だと思いますか。当てはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

選択肢	回答数	割合
団塊世代への呼びかけ	144	10.2%
若い世代への呼びかけ	327	23.1%
活動する人たちが情報交換できる場づくり	247	17.5%
研修会等の開催	52	3.7%
活動費の補助	247	17.5%
支援者となる人材やリーダーの育成	203	14.3%
行政や関係機関の支援ネットワークの整備	181	12.8%
その他	14	1.0%
計	1,415	100.0%



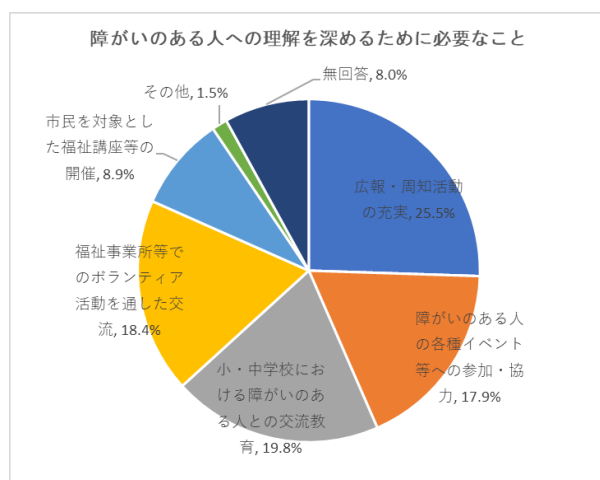
問6 障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。

選択肢	回答数	割合
あると思う	109	15.9%
少しはあると思う	314	45.8%
ないと思う	134	19.5%
分からない	97	14.1%
無回答	32	4.7%
計	686	100.0%



問7 障がいのある人への理解を深めるために何が必要だと思いますか。

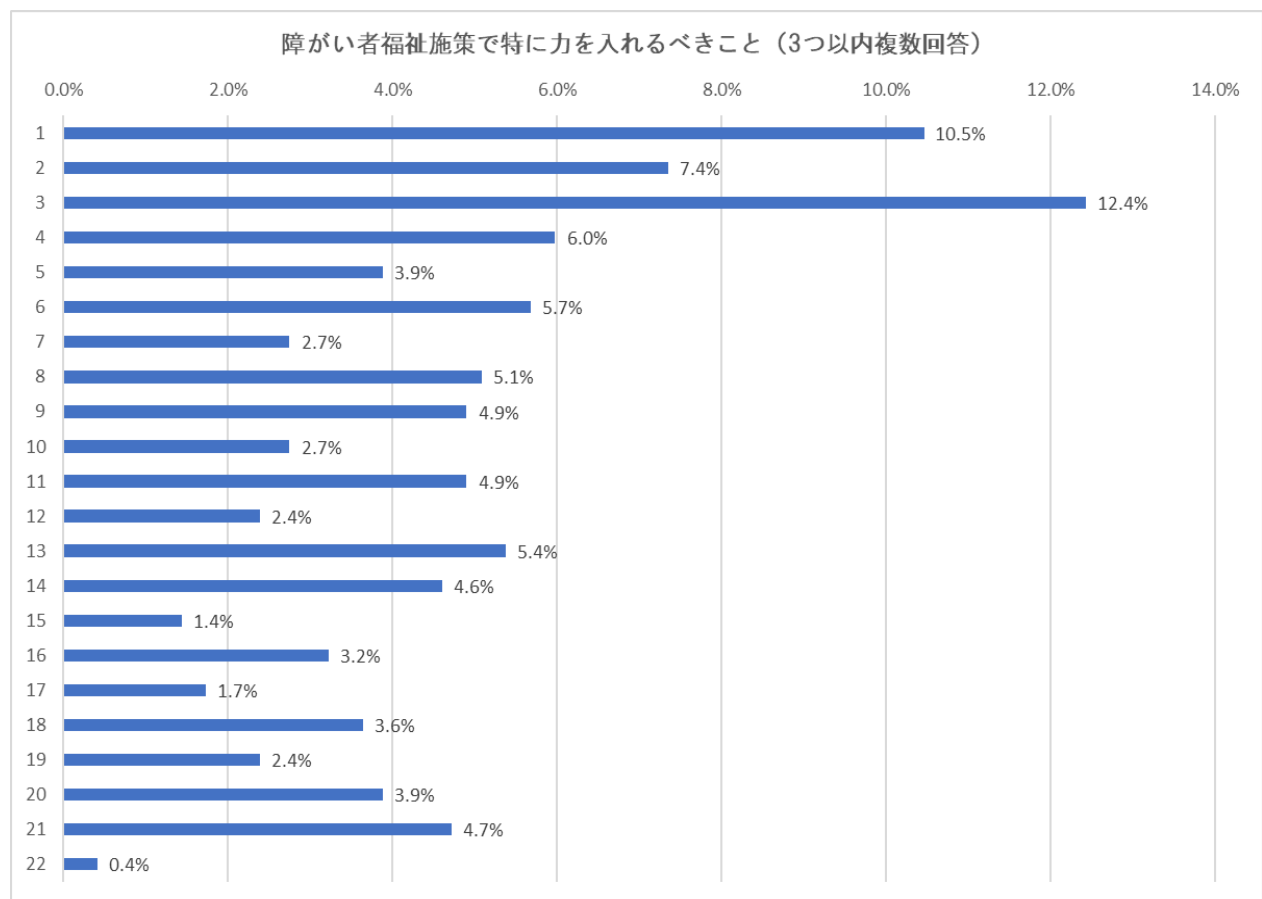
選択肢	回答数	割合
広報・周知活動の充実	175	25.5%
障がいのある人の各種イベント等への参加・協力	123	17.9%
小・中学校における障がいのある人との交流教育	136	19.8%
福祉事業所等でのボランティア活動を通じた交流	126	18.4%
市民を対象とした福祉講座等の開催	61	8.9%
その他	10	1.5%
無回答	55	8.0%
計	686	100.0%



問8 障がい者福祉施策について、今後、市が特に力を入れるべきことはどのようなことだと思いますか。当てはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

選択肢	回答数	割合
1 障がいや障がいのある人への理解を促進するための啓発活動を行う	175	10.5%
2 ホームヘルプサービスやショートステイなど在宅サービスを増やす	123	7.4%
3 入所できる施設を増やす	208	12.4%
4 移動支援など安心して外出できるよう支援する	100	6.0%
5 社会参加活動を促進するため、日中活動の場を増やす	65	3.9%
6 グループホームなど、地域で生活する住まいの場を増やす	95	5.7%
7 入所施設や病院から、地域での生活に移行できるよう支援する	46	2.7%
8 各種手当や助成制度などの経済的な支援を充実させる	85	5.1%
9 障がい福祉サービスを提供する事業所を増やす	82	4.9%
10 障がいのある人の権利を守る権利擁護や虐待の早期発見、未然防止に努める	46	2.7%
11 身近なところで相談ができるよう、相談支援窓口を増やす	82	4.9%
12 発達障がいや精神保健・精神医療施策を進める	40	2.4%
13 保健・医療・福祉などの関係機関の連携を強くする	90	5.4%
14 障がいのある子どもたちの療育支援を充実させる	77	4.6%
15 災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める	24	1.4%
16 障がいの状況に応じた学習方法や特別支援教育の充実など、学校教育の場での支援を充実させる	54	3.2%
17 障がいのある人のスポーツ、文化活動に対する支援を増やす	29	1.7%
18 一般企業などへの就労が無理なくできるような環境整備を進める(事業所等への支援、フォローアップ)	61	3.6%

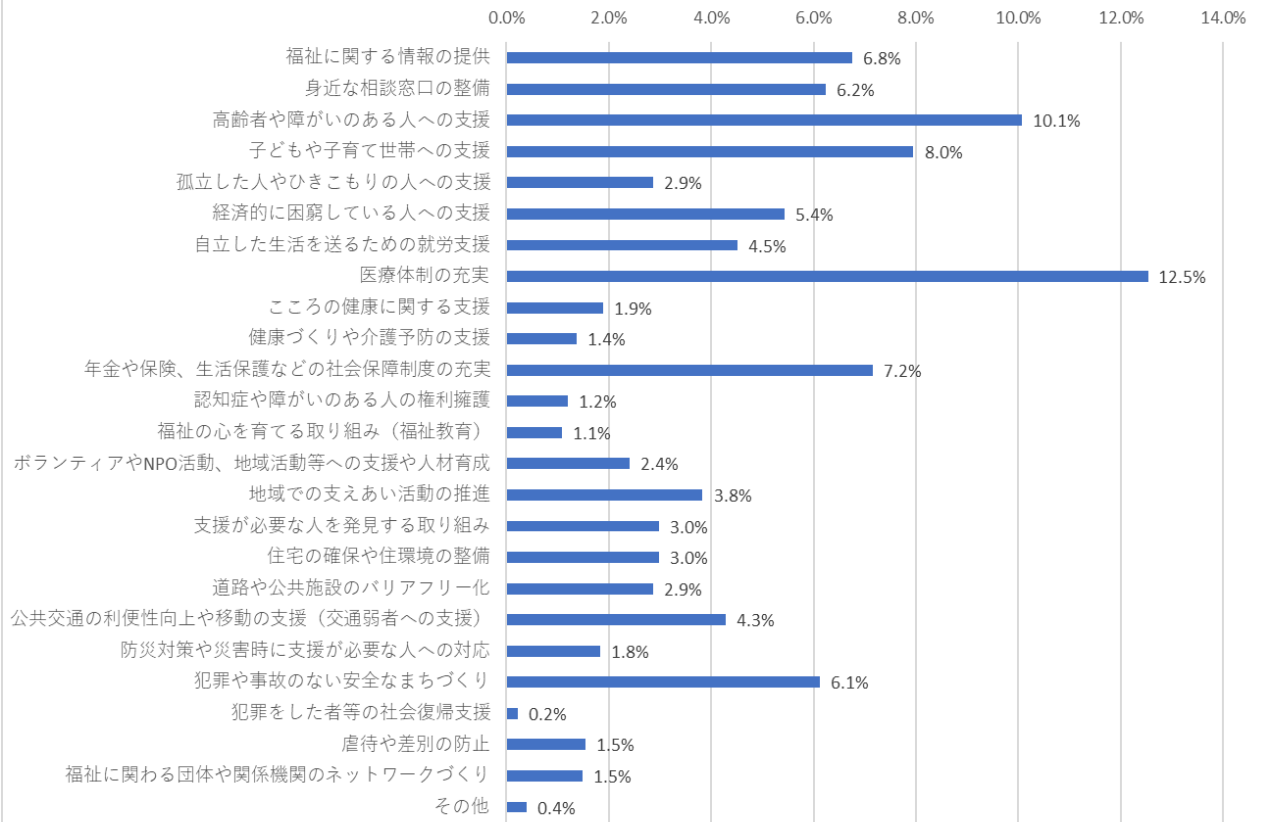
19	一般企業への就労が困難な障がいのある人が利用できる就労継続支援事業所等を増やす	40	2.4%
20	ユニバーサルデザインの推進など、障がいの有無や程度に関わらず、すべての人が利用しやすい環境整備を進める	65	3.9%
21	障がいのある人が円滑なコミュニケーションができるように、障がいの状況に応じた支援や情報のバリアフリー化を進める	79	4.7%
22	その他	7	0.4%
計		1,673	100%



問9 誰もが安心して暮らすことができる地域福祉の推進のために、特に優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。当てはまるものを3つ以内で選んで○印をつけてください。

選択肢	回答数	割合
福祉に関する情報の提供	118	6.8%
身近な相談窓口の整備	109	6.2%
高齢者や障がいのある人への支援	176	10.1%
子どもや子育て世帯への支援	139	8.0%
孤立した人やひきこもりの人への支援	50	2.9%
経済的に困窮している人への支援	95	5.4%
自立した生活を送るための就労支援	79	4.5%
医療体制の充実	219	12.5%
こころの健康に関する支援	33	1.9%
健康づくりや介護予防の支援	24	1.4%
年金や保険、生活保護などの社会保障制度の充実	125	7.2%
認知症や障がいのある人の権利擁護	21	1.2%
福祉の心を育てる取り組み（福祉教育）	19	1.1%
ボランティアやNPO活動、地域活動等への支援や人材育成	42	2.4%
地域での支えあい活動の推進	67	3.8%
支援が必要な人を発見する取り組み	52	3.0%
住宅の確保や住環境の整備	52	3.0%
道路や公共施設のバリアフリー化	50	2.9%
公共交通の利便性向上や移動の支援（交通弱者への支援）	75	4.3%
防災対策や災害時に支援が必要な人への対応	32	1.8%
犯罪や事故のない安全なまちづくり	107	6.1%
犯罪をした者等の社会復帰支援	4	0.2%
虐待や差別の防止	27	1.5%
福祉に関わる団体や関係機関のネットワークづくり	26	1.5%
その他	7	0.4%
計	1,748	100%

地域福祉推進のために優先して取り組むべきこと（3つ以内複数回答）



令和5年度市民意識調査結果

(地域福祉に関する質問項目抜粋)

【目的】 平成18(2006)年度から市民意見や市民生活の実態を把握するため、市に住民登録されている18歳以上の約1割を無作為に抽出して市民アンケートを実施。長期振興計画の進行管理のため、計画に掲げる各施策に対して市民が感じる重要度・満足度も把握している。

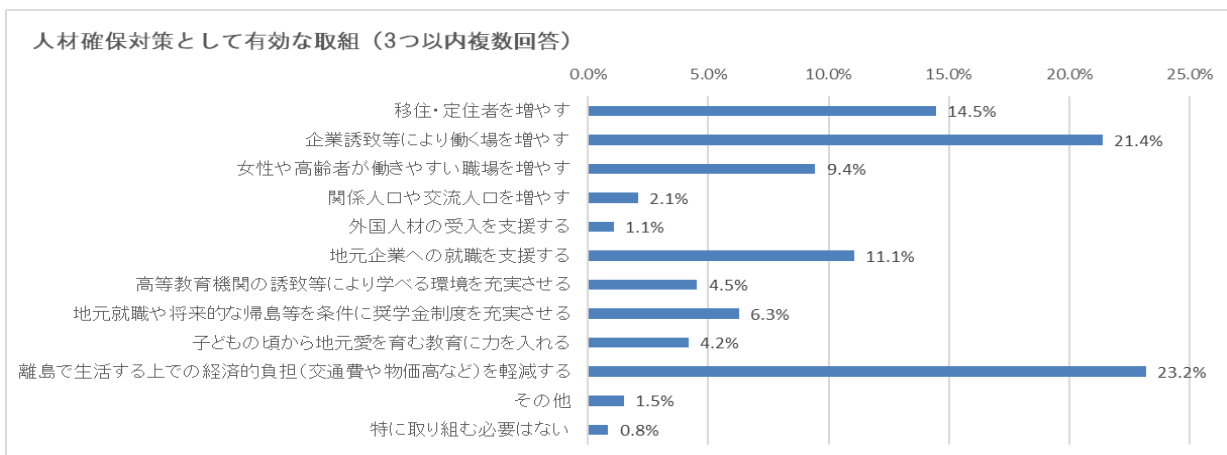
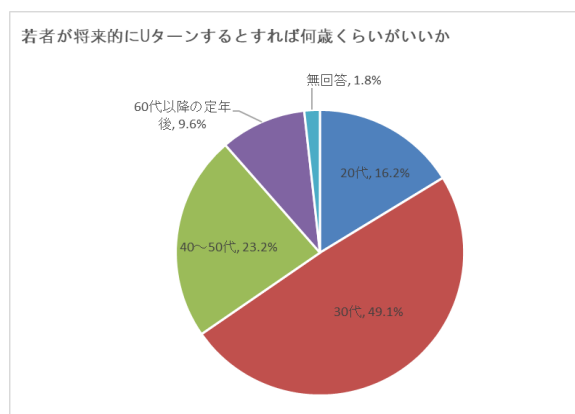
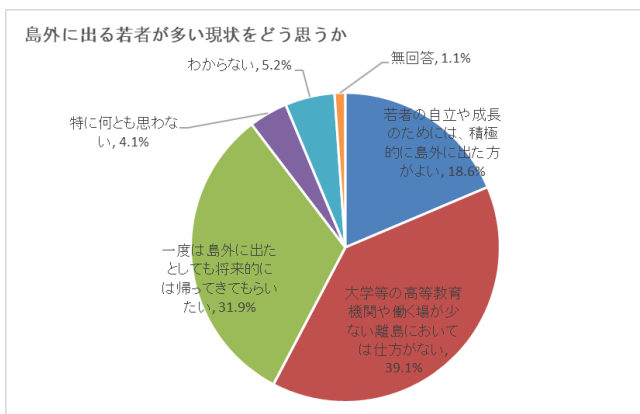
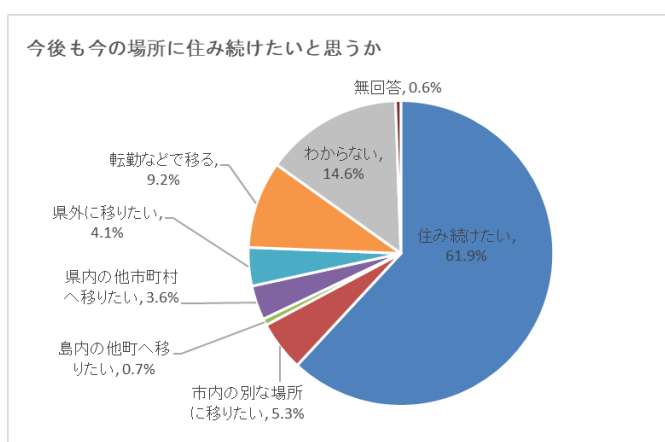
【調査期間】 令和5年4月25日～5月15日

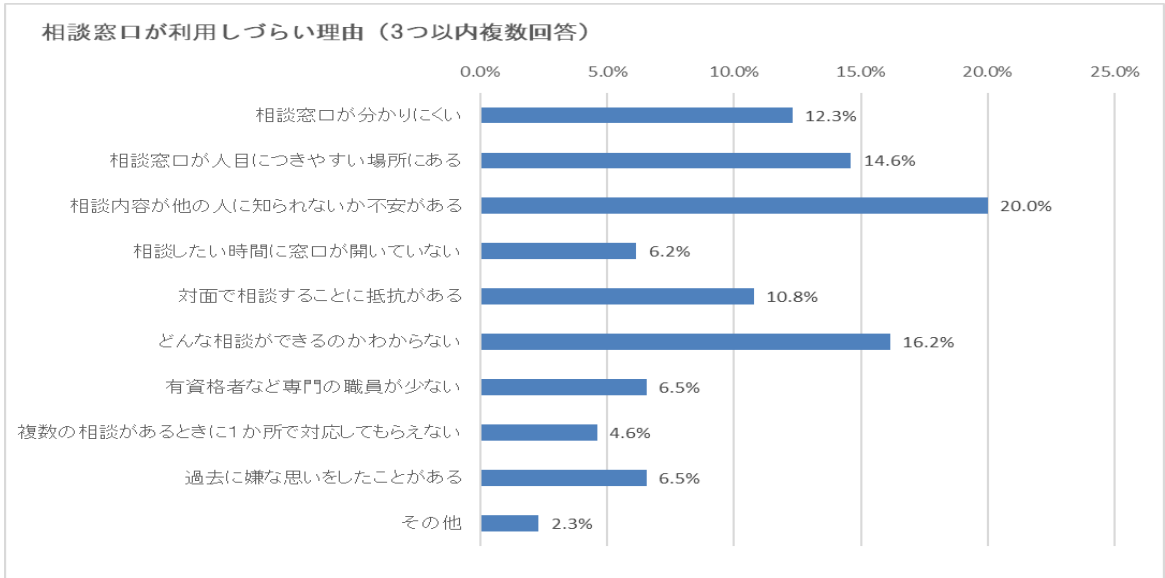
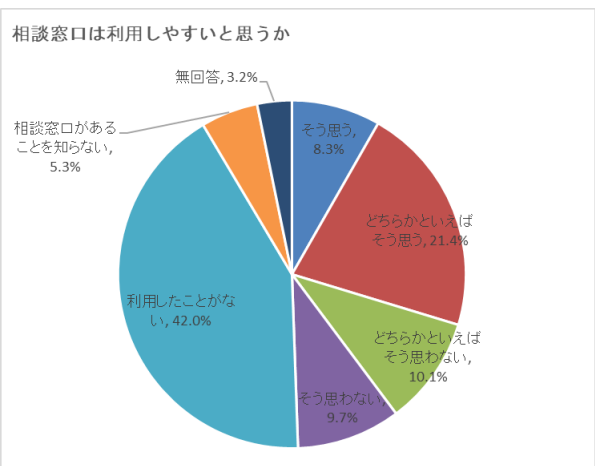
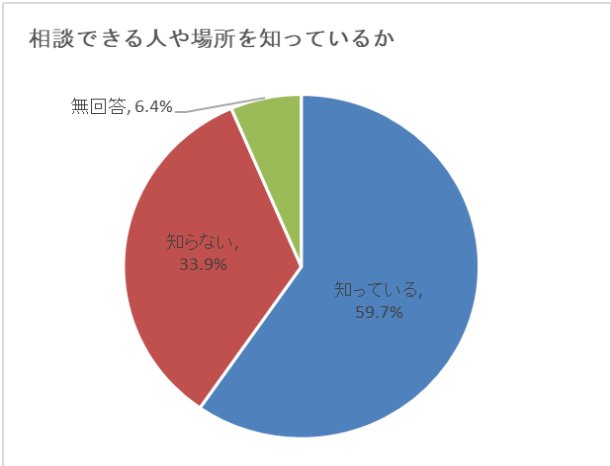
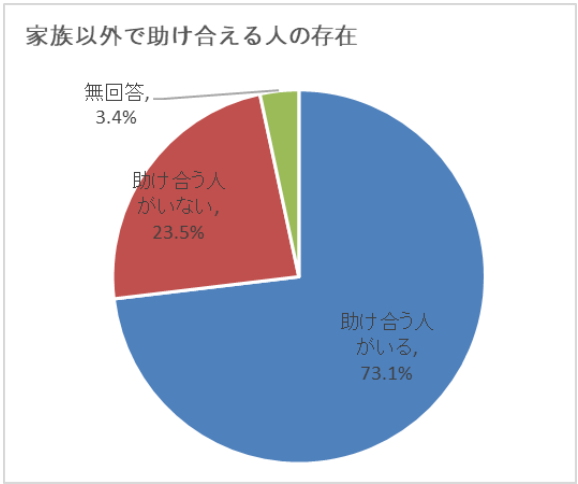
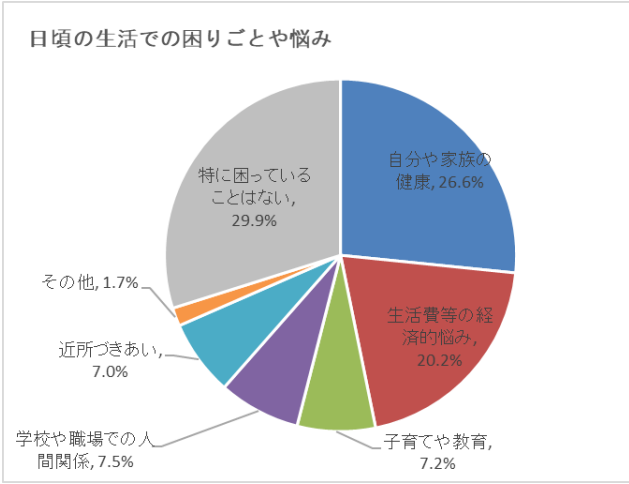
【調査対象者数】 1,217人(18歳以上人口の10%)

【回答者数】 714人(ネット回答181人)

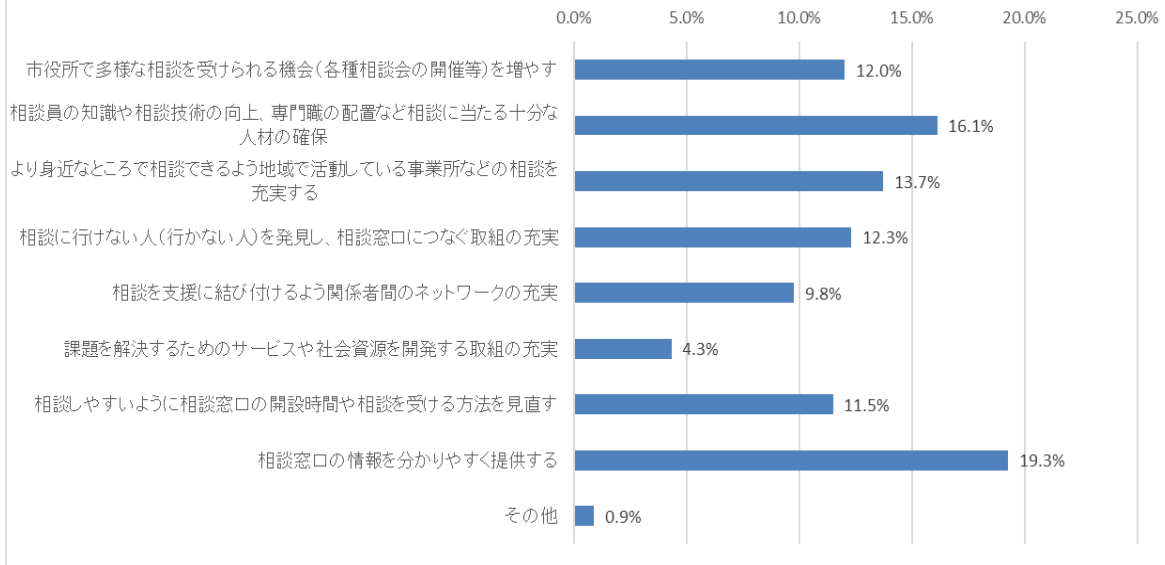
【回答率】 58.7%(25.4%)

***** 地域福祉に関連する質問項目は以下のとおり *****

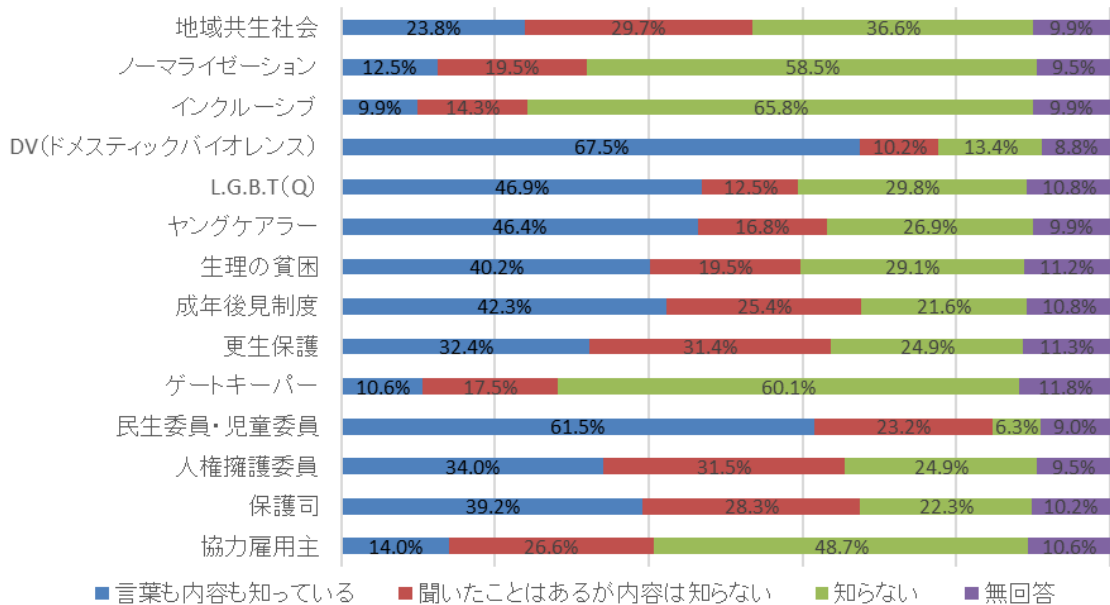


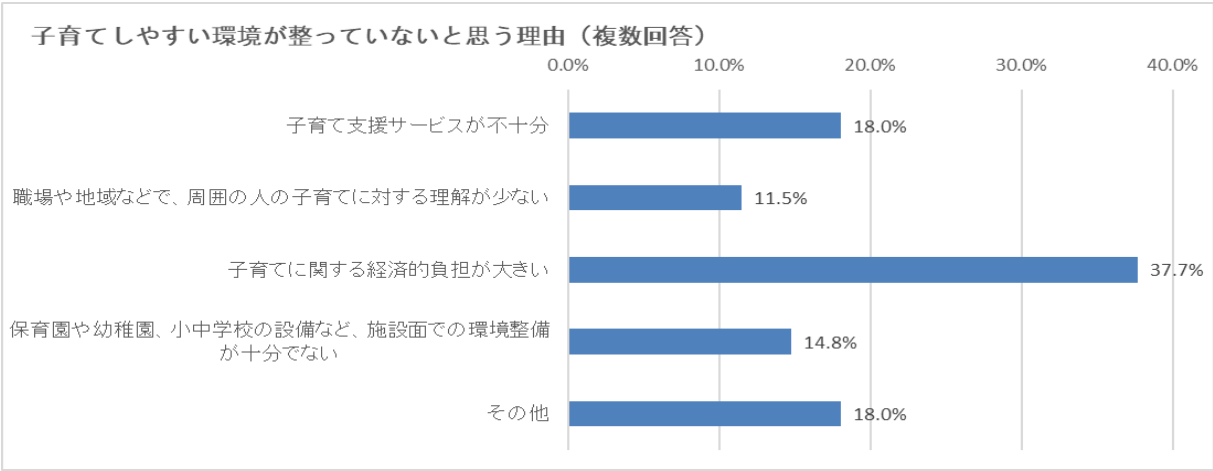
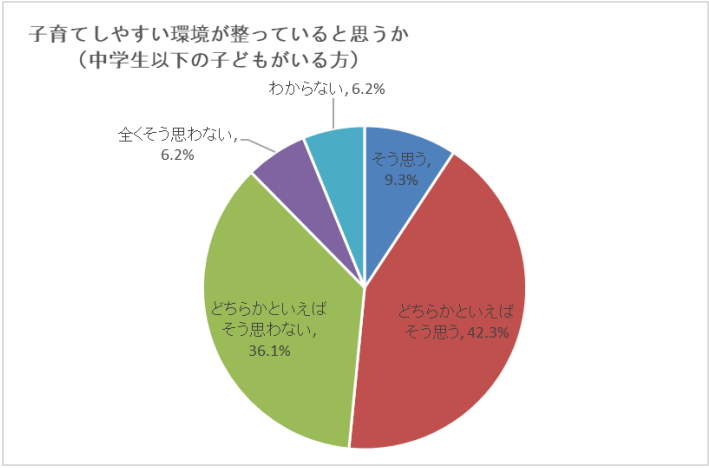


相談支援体制の充実のため、特に力を入れるべき取組（3つ以内複数回答）



福祉に関する言葉の認知度





地域福祉活動に関するアンケート調査結果

～民生委員・児童委員対象～

【目的】 第1期西之表市地域福祉計画の策定にあたり、地域福祉活動の担い手である民生委員・児童委員の意見を伺い、計画策定の基礎資料とするほか、今後の民生委員活動の参考とする。

【調査期間】 令和5年3月～4月

【調査対象者数】 53人

【回答者数】 41人

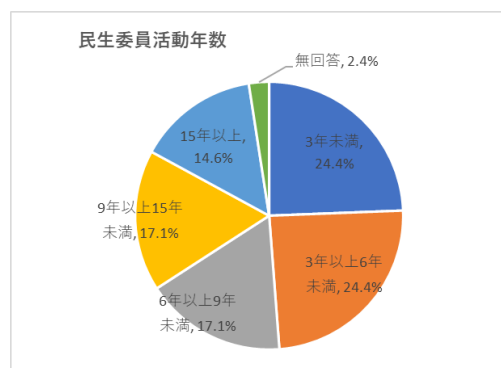
【回答率】 77.4%

***** 調査結果は以下のとおり *****

民生委員・児童委員の活動について

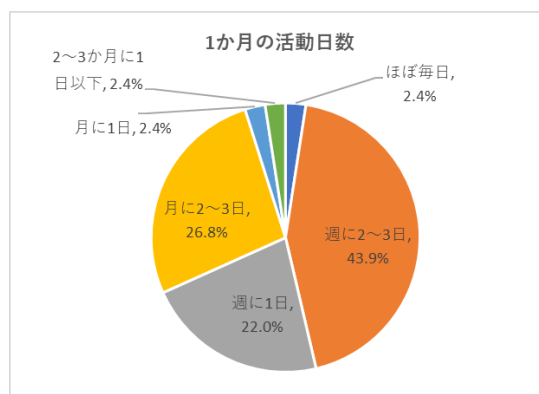
問1 民生委員・児童委員としての活動年数を教えてください。

選択肢	回答数	割合
3年未満	10	24.4%
3年以上6年未満	10	24.4%
6年以上9年未満	7	17.1%
9年以上15年未満	7	17.1%
15年以上	6	14.6%
無回答	1	2.4%
計	41	100.0%



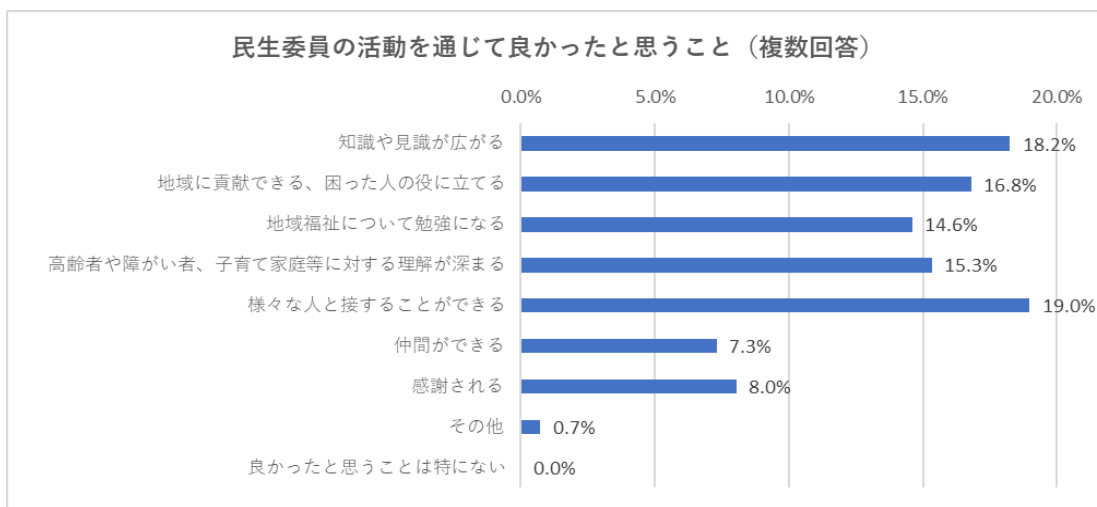
問2 民生委員・児童委員としての1か月のおおよその活動日数を教えてください。

選択肢	回答数	割合
ほぼ毎日	1	2.4%
週に2～3日	18	43.9%
週に1日	9	22.0%
月に2～3日	11	26.8%
月に1日	1	2.4%
2～3か月に1日以下	1	2.4%
計	41	100.0%



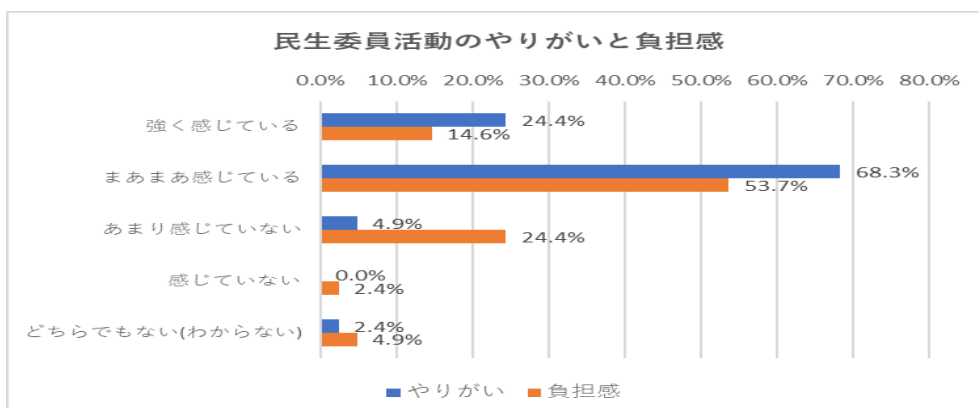
問3 民生委員・児童委員の活動を通じて良かったと思うことは何ですか。
(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合
知識や見識が広がる	25	18.2%
地域に貢献できる、困った人の役に立てる	23	16.8%
地域福祉について勉強になる	20	14.6%
高齢者や障がい者、子育て家庭等に対する理解が深まる	21	15.3%
様々な人と接することができる	26	19.0%
仲間ができる	10	7.3%
感謝される	11	8.0%
その他	1	0.7%
良かったと思うことは特にない	0	0.0%
計	137	100.0%



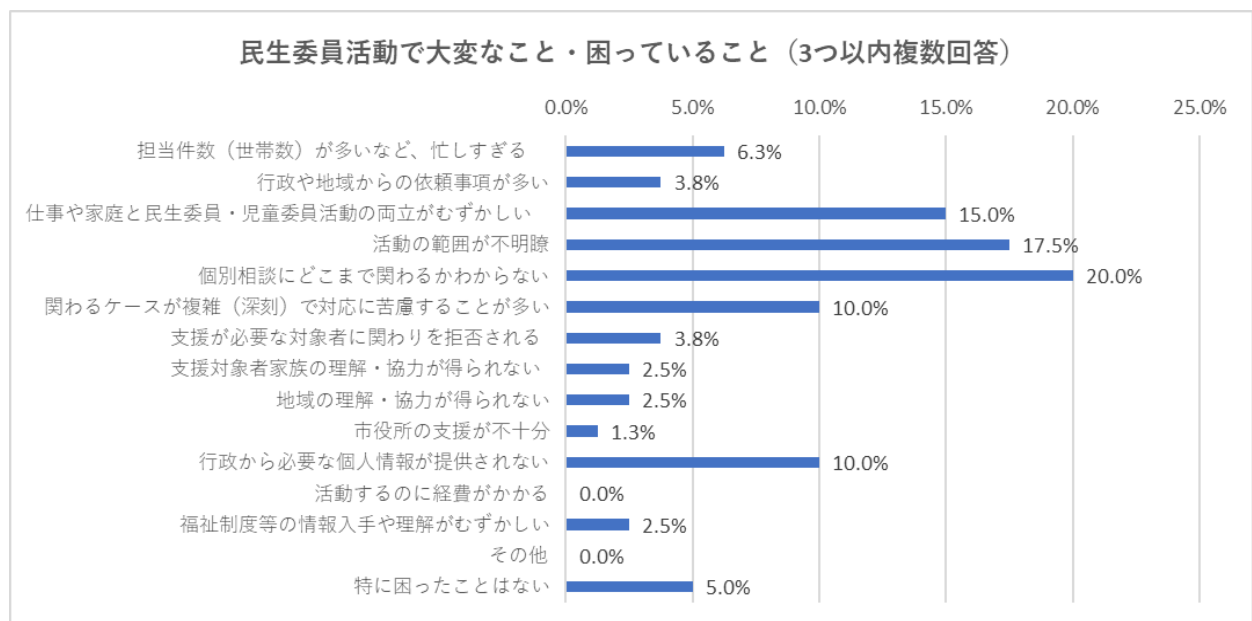
問4 民生委員・児童委員の活動について、どのように感じていますか。(〇は1つ)
【やりがい・負担感】

選択肢	回答数		割合	
	やりがい	負担感	やりがい	負担感
強く感じている	10	6	24.4%	14.6%
まあまあ感じている	28	22	68.3%	53.7%
あまり感じていない	2	10	4.9%	24.4%
感じていない		1	0.0%	2.4%
どちらでもない(わからない)	1	2	2.4%	4.9%
計	41	41	100.0%	100.0%



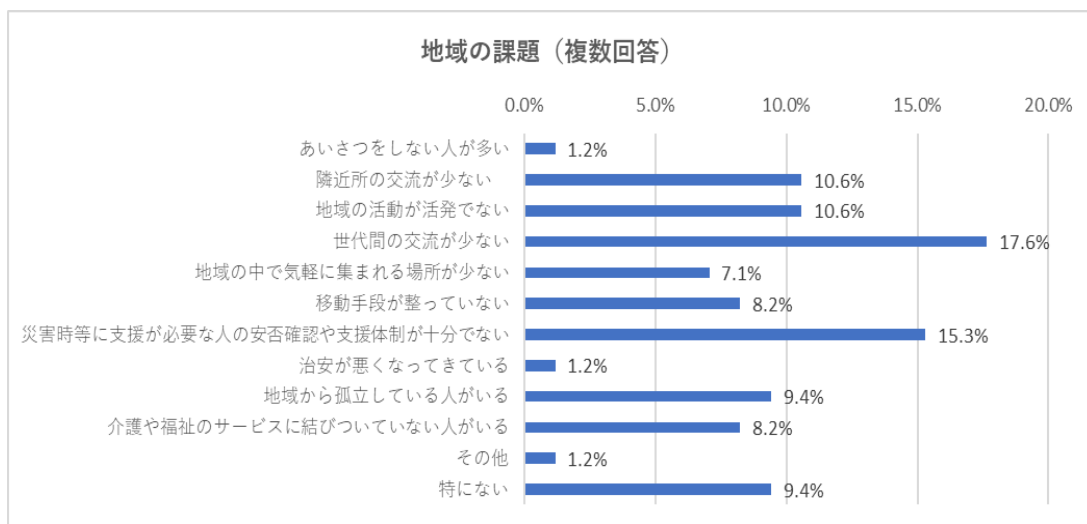
問5 民生委員・児童委員の活動で大変なこと、または困っていることは何ですか。
 (〇は3つまで)

選択肢	回答数	割合
担当件数(世帯数)が多いなど、忙しすぎる	5	6.3%
行政や地域からの依頼事項が多い	3	3.8%
仕事や家庭と民生委員・児童委員活動の両立がむずかしい	12	15.0%
活動の範囲が不明瞭	14	17.5%
個別相談にどこまで関わるかわからない	16	20.0%
関わるケースが複雑(深刻)で対応に苦慮することが多い	8	10.0%
支援が必要な対象者に関わりを拒否される	3	3.8%
支援対象者家族の理解・協力が得られない	2	2.5%
地域の理解・協力が得られない	2	2.5%
市役所の支援が不十分	1	1.3%
行政から必要な個人情報提供されない	8	10.0%
活動するのに経費がかかる	0	0.0%
福祉制度等の情報入手や理解がむずかしい	2	2.5%
その他	0	0.0%
特に困ったことはない	4	5.0%
計	80	100.0%



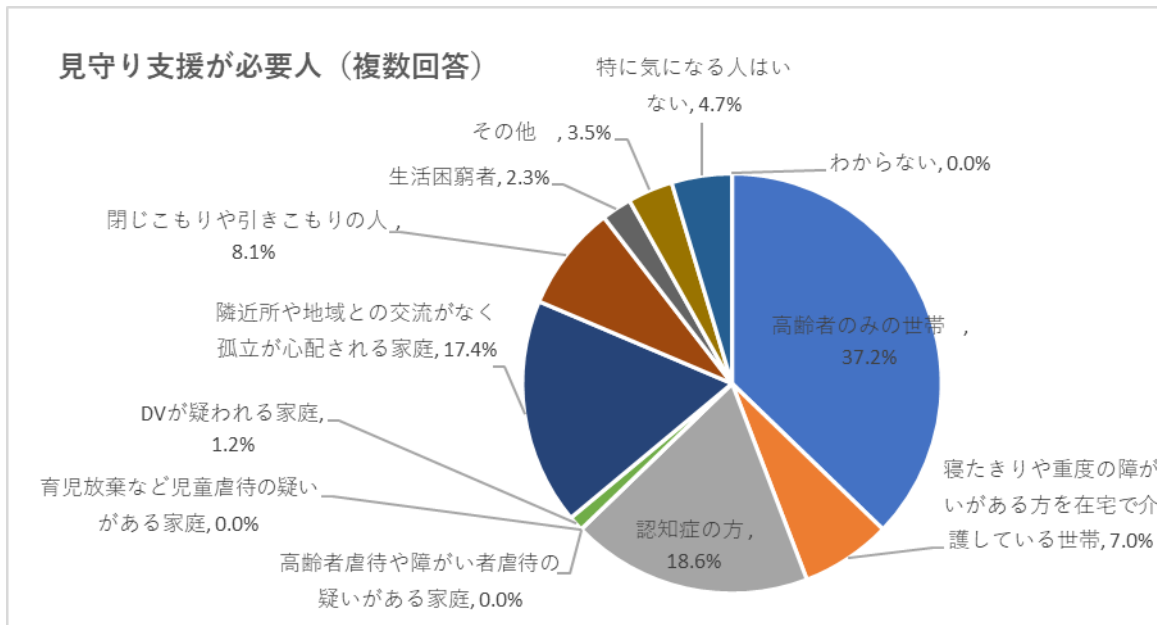
問6 現在、担当されている地域の中で課題に感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合
あいさつをしない人が多い	1	1.2%
隣近所の交流が少ない	9	10.6%
地域の活動が活発でない	9	10.6%
世代間の交流が少ない	15	17.6%
地域の中で気軽に集まれる場所が少ない	6	7.1%
移動手段が整っていない	7	8.2%
災害時等に支援が必要な人の安否確認や支援体制が十分でない	13	15.3%
治安が悪くなってきている	1	1.2%
地域から孤立している人がいる	8	9.4%
介護や福祉のサービスに結びついていない人がいる	7	8.2%
その他	1	1.2%
特になし	8	9.4%
計	85	100.0%



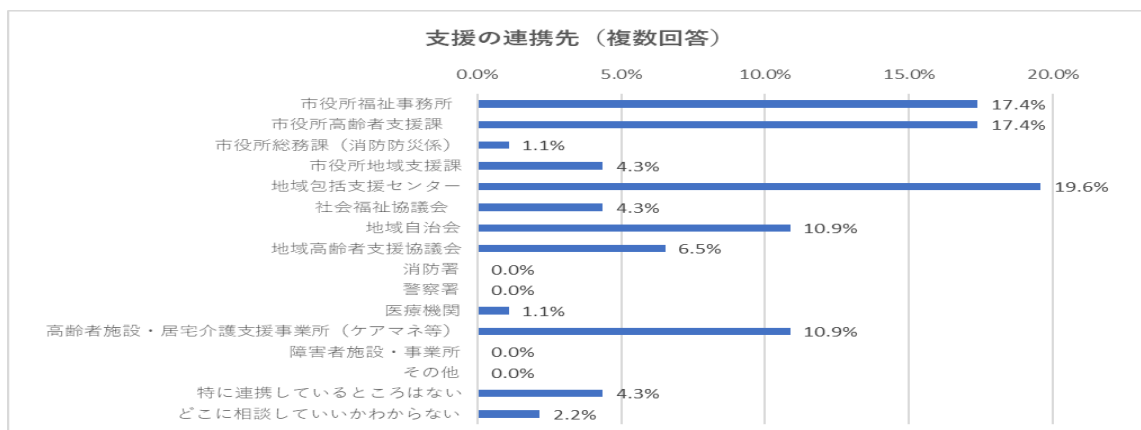
問7 現在、担当されている地域の中で、次のような、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人（何らかの課題を抱えている人）がいますか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合
高齢者のみの世帯	32	37.2%
寝たきりや重度の障がいがある方を在宅で介護している世帯	6	7.0%
認知症の方	16	18.6%
高齢者虐待や障がい者虐待の疑いがある家庭	0	0.0%
育児放棄など児童虐待の疑いがある家庭	0	0.0%
DVが疑われる家庭	1	1.2%
隣近所や地域との交流がなく孤立が心配される家庭	15	17.4%
閉じこもりや引きこもりの人	7	8.1%
生活困窮者	2	2.3%
その他	3	3.5%
特に気になる人はいない	4	4.7%
わからない	0	0.0%
計	86	100.0%



問8 問7で気になる人がいると回答された方に伺います。気になる人のことについて、情報提供や相談をしたり、連携して支援をしたりしているところ（関係機関等）がありますか。（〇はいくつでも）

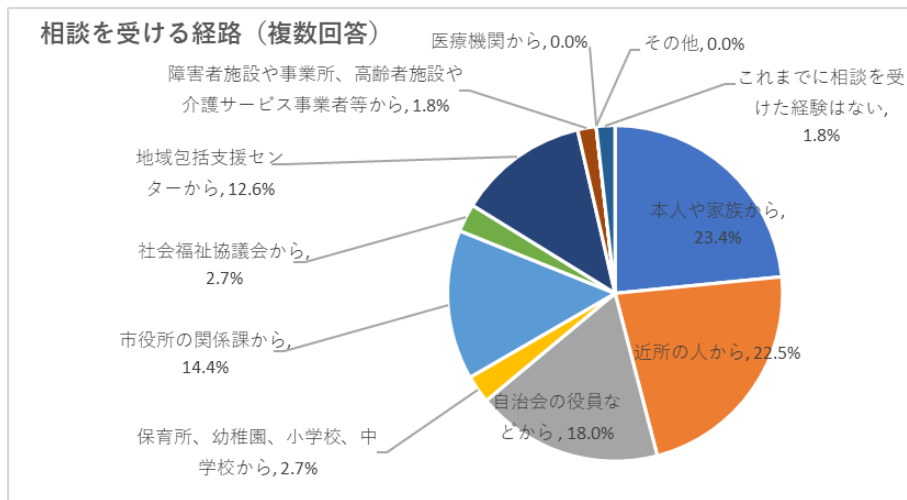
選択肢	回答数	割合
市役所福祉事務所	16	17.4%
市役所高齢者支援課	16	17.4%
市役所総務課（消防防災係）	1	1.1%
市役所地域支援課	4	4.3%
地域包括支援センター	18	19.6%
社会福祉協議会	4	4.3%
地域自治会	10	10.9%
地域高齢者支援協議会	6	6.5%
消防署	0	0.0%
警察署	0	0.0%
医療機関	1	1.1%
高齢者施設・居宅介護支援事業所（ケアマネ等）	10	10.9%
障害者施設・事業所	0	0.0%
その他	0	0.0%
特に連携しているところはない	4	4.3%
どこに相談していいかわからない	2	2.2%
計	92	100.0%



活動に必要な情報や地域における連携について

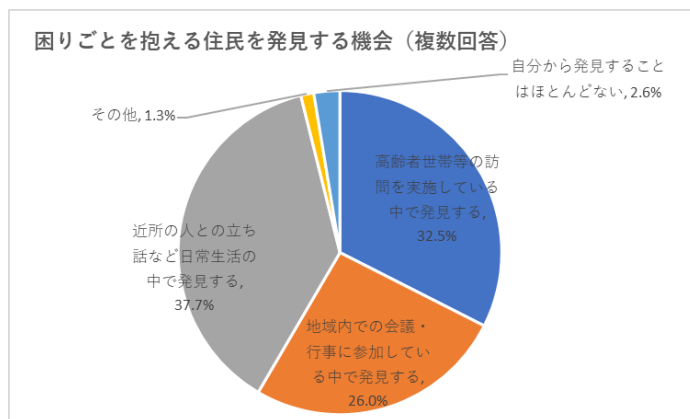
問9 あなたは、住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。(もっとも多いもの1つに◎、あてはまるものすべてに○)

選択肢	もっとも多いもの	その他経路	回答計	割合
本人や家族から	13	13	26	23.4%
近所の人から	4	21	25	22.5%
自治会の役員などから	1	19	20	18.0%
保育所、幼稚園、小学校、中学校から	1	2	3	2.7%
市役所の関係課から	1	15	16	14.4%
社会福祉協議会から	1	2	3	2.7%
地域包括支援センターから	4	10	14	12.6%
障害者施設や事業所、高齢者施設や介護サービス事業者等から	0	2	2	1.8%
医療機関から	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0.0%
これまでに相談を受けた経験はない	0	2	2	1.8%
計	25	86	111	100.0%



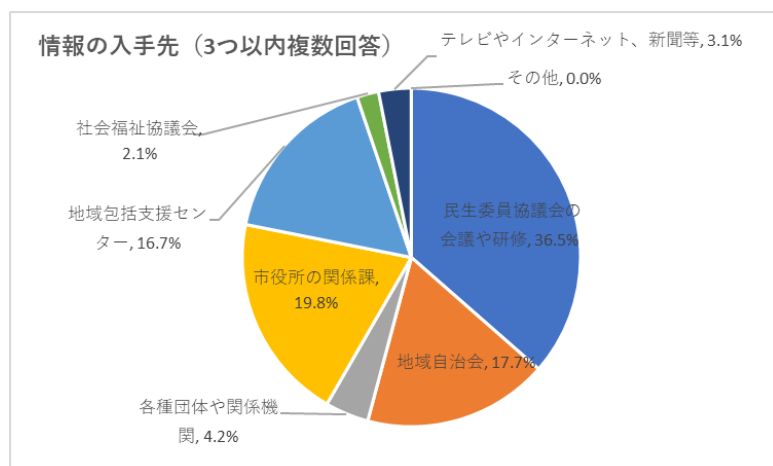
問10 あなたは、民生委員・児童委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。(もっとも多いもの1つに◎、あてはまるものすべてに○)

選択肢	もっとも多いもの	その他の機会	回答計	割合
高齢者世帯等の訪問を実施している中で発見する	14	11	25	32.5%
地域内での会議・行事に参加している中で発見する	9	11	20	26.0%
近所の人との立ち話など日常生活の中で発見する	10	19	29	37.7%
その他	0	1	1	1.3%
自分から発見することはほとんどない	0	2	2	2.6%
計	33	44	77	100.0%



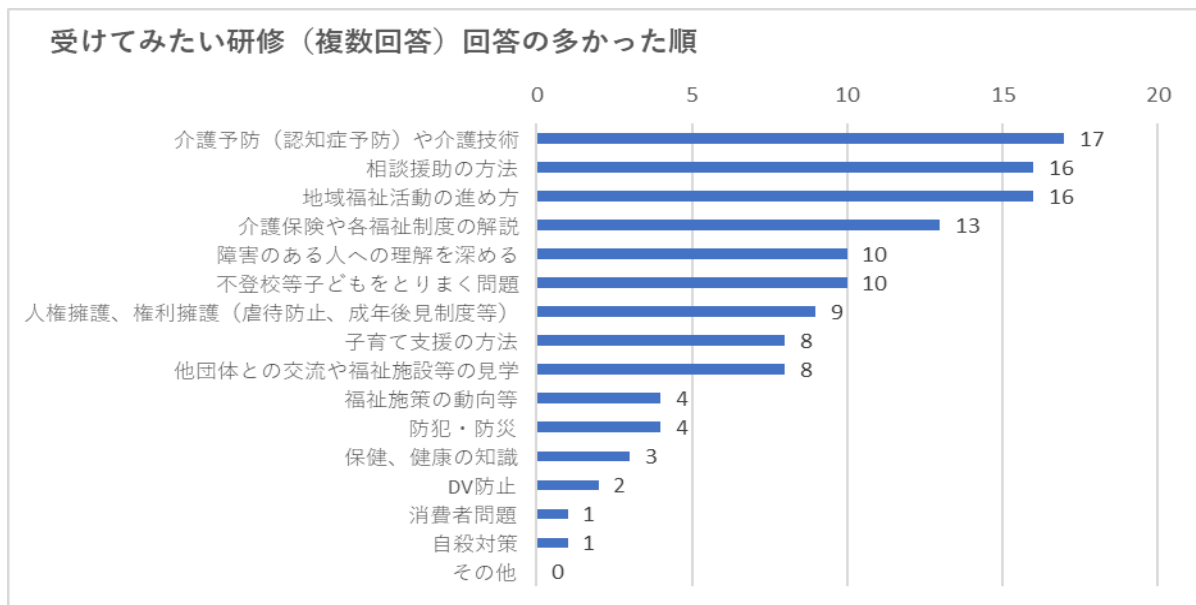
問 11 あなたは、民生委員・児童委員活動に必要な情報を、どこから得ていますか。
 (○は3つまで)

選択肢	回答数	割合
民生委員協議会の会議や研修	35	36.5%
地域自治会	17	17.7%
各種団体や関係機関	4	4.2%
市役所の関係課	19	19.8%
地域包括支援センター	16	16.7%
社会福祉協議会	2	2.1%
テレビやインターネット、新聞等	3	3.1%
その他	0	0.0%
計	96	100%



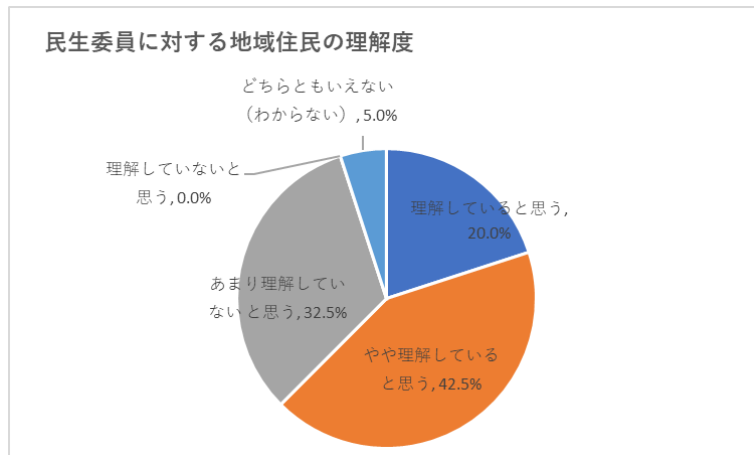
問 12 民生委員・児童委員の活動をすすめていくうえで、受けてみたい研修は何ですか。(〇はいくつでも)

選択肢	回答数	割合
相談援助の方法	16	13.1%
介護保険や各福祉制度の解説	13	10.7%
保健、健康の知識	3	2.5%
地域福祉活動の進め方	16	13.1%
人権擁護、権利擁護（虐待防止、成年後見制度等）	9	7.4%
福祉施策の動向等	4	3.3%
子育て支援の方法	8	6.6%
介護予防（認知症予防）や介護技術	17	13.9%
障害のある人への理解を深める	10	8.2%
消費者問題	1	0.8%
自殺対策	1	0.8%
DV防止	2	1.6%
不登校等子どもをとりまく問題	10	8.2%
防犯・防災	4	3.3%
他団体との交流や福祉施設等の見学	8	6.6%
その他	0	0.0%
計	122	100%



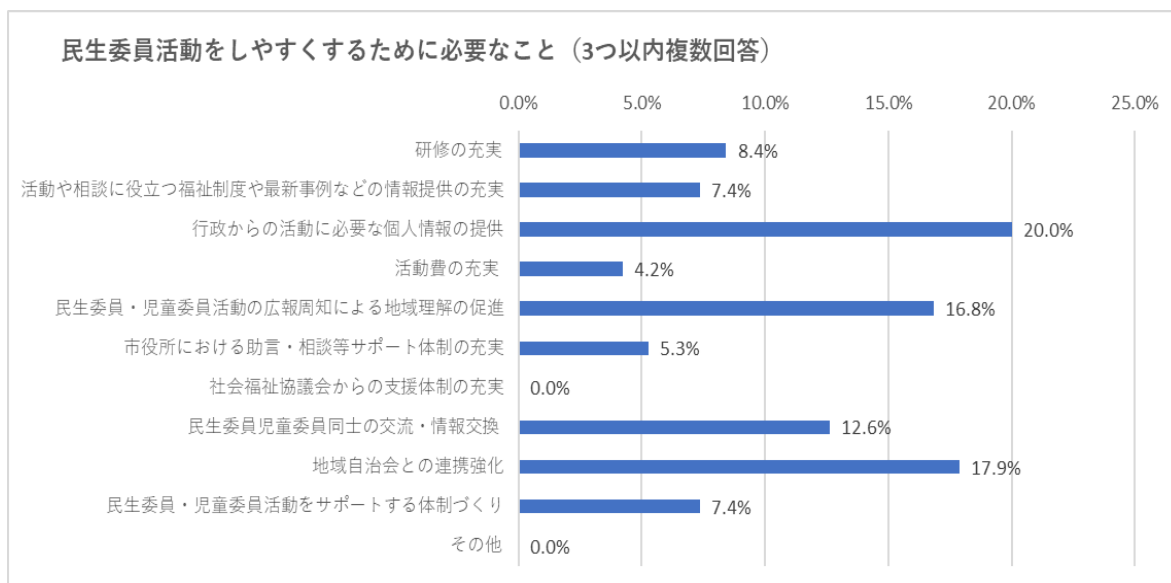
問 13 あなたの地域の住民は、民生委員・児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものをお答えください。(○は1つ)

選択肢	回答数	割合
理解していると思う	8	20.0%
やや理解していると思う	17	42.5%
あまり理解していないと思う	13	32.5%
理解していないと思う	0	0.0%
どちらともいえない(わからない)	2	5.0%
計	40	100%



問 14 民生委員・児童委員の活動をしやすいするためには、何が必要と思いますか。(○は3つまで)

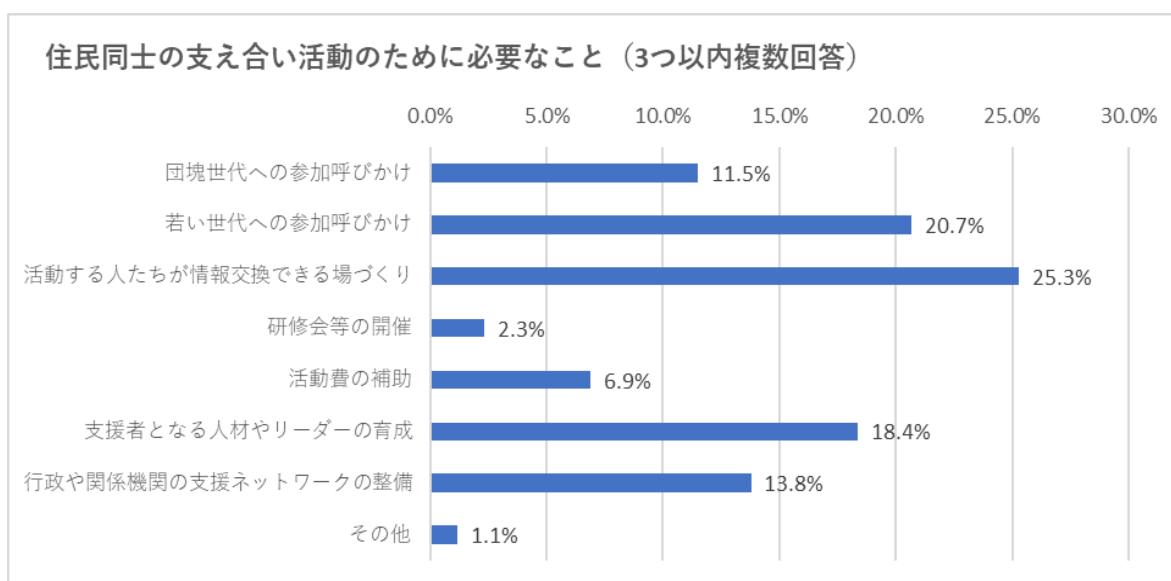
選択肢	回答数	割合
研修の充実	8	8.4%
活動や相談に役立つ福祉制度や最新事例などの情報提供の充実	7	7.4%
行政からの活動に必要な個人情報の提供	19	20.0%
活動費の充実	4	4.2%
民生委員・児童委員活動の広報周知による地域理解の促進	16	16.8%
市役所における助言・相談等サポート体制の充実	5	5.3%
社会福祉協議会からの支援体制の充実	0	0.0%
民生委員児童委員同士の交流・情報交換	12	12.6%
地域自治会との連携強化	17	17.9%
民生委員・児童委員活動をサポートする体制づくり	7	7.4%
その他	0	0.0%
計	95	100%



支え合いなど地域活動の推進について

問 15 地域住民同士の支えあいによる活動の輪を広げていくために必要なことは何だと思いませんか。
（〇は3つまで）

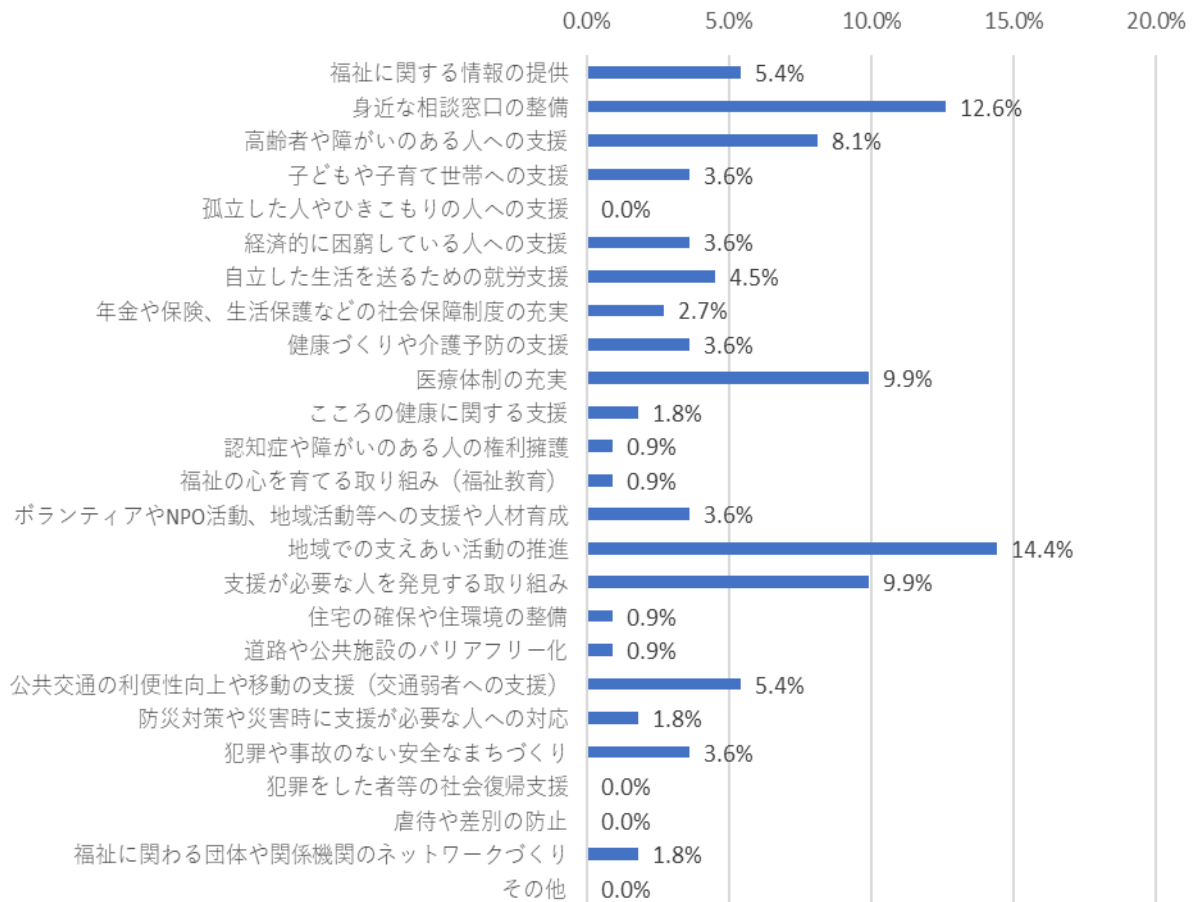
選択肢	回答数	割合
団塊世代への参加呼びかけ	10	11.5%
若い世代への参加呼びかけ	18	20.7%
活動する人たちが情報交換できる場づくり	22	25.3%
研修会等の開催	2	2.3%
活動費の補助	6	6.9%
支援者となる人材やリーダーの育成	16	18.4%
行政や関係機関の支援ネットワークの整備	12	13.8%
その他	1	1.1%
計	87	100%



問 16 誰もが安心してくらすことができる地域福祉の推進のために、特に優先して取り組むべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

選択肢	回答数	割合
福祉に関する情報の提供	6	5.4%
身近な相談窓口の整備	14	12.6%
高齢者や障がいのある人への支援	9	8.1%
子どもや子育て世帯への支援	4	3.6%
孤立した人やひきこもりの人への支援	0	0.0%
経済的に困窮している人への支援	4	3.6%
自立した生活を送るための就労支援	5	4.5%
年金や保険、生活保護などの社会保障制度の充実	3	2.7%
健康づくりや介護予防の支援	4	3.6%
医療体制の充実	11	9.9%
こころの健康に関する支援	2	1.8%
認知症や障がいのある人の権利擁護	1	0.9%
福祉の心を育てる取り組み(福祉教育)	1	0.9%
ボランティアやNPO活動、地域活動等への支援や人材育成	4	3.6%
地域での支えあい活動の推進	16	14.4%
支援が必要な人を発見する取り組み	11	9.9%
住宅の確保や住環境の整備	1	0.9%
道路や公共施設のバリアフリー化	1	0.9%
公共交通の利便性向上や移動の支援(交通弱者への支援)	6	5.4%
防災対策や災害時に支援が必要な人への対応	2	1.8%
犯罪や事故のない安全なまちづくり	4	3.6%
犯罪をした者等の社会復帰支援	0	0.0%
虐待や差別の防止	0	0.0%
福祉に関わる団体や関係機関のネットワークづくり	2	1.8%
その他	0	0.0%
計	111	100%

地域福祉推進のために優先して取り組むべきこと（3つ以内複数回答）



地域福祉活動に関するアンケート調査結果

～相談支援機関対象～

【目的】 第1期西之表市地域福祉計画の策定にあたり、組織間の連携等に関する現状と課題や、今後の方向性等についての意見を伺い、計画策定の基礎資料とするほか、今後の連携体制づくりの参考とする。

【調査期間】 令和5年3月～4月

【調査対象事業所】 9事業所

(高齢者) 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

(障がい者) 相談支援事業所

(子ども) 子育て支援センター

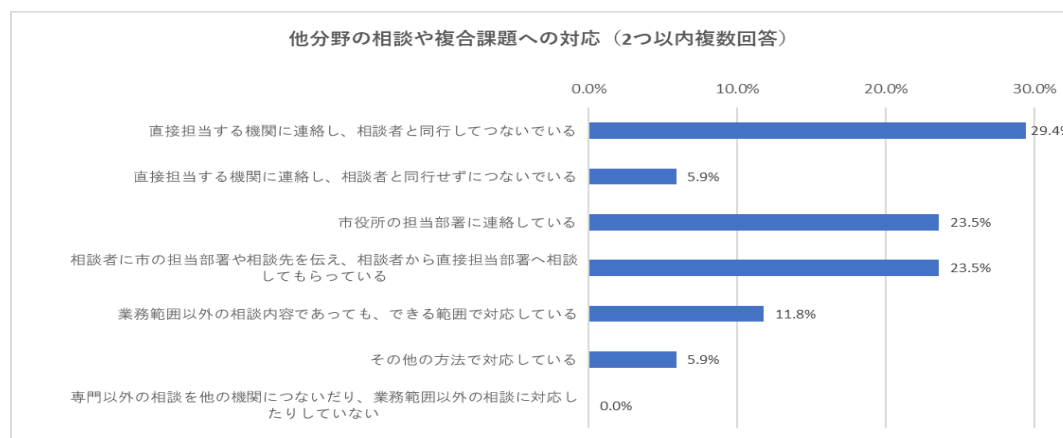
(生活困窮者) 暮らしサポートセンター

***** 調査結果は以下のとおり *****

《I 他分野の相談や複合課題への対応についておうかがいします》

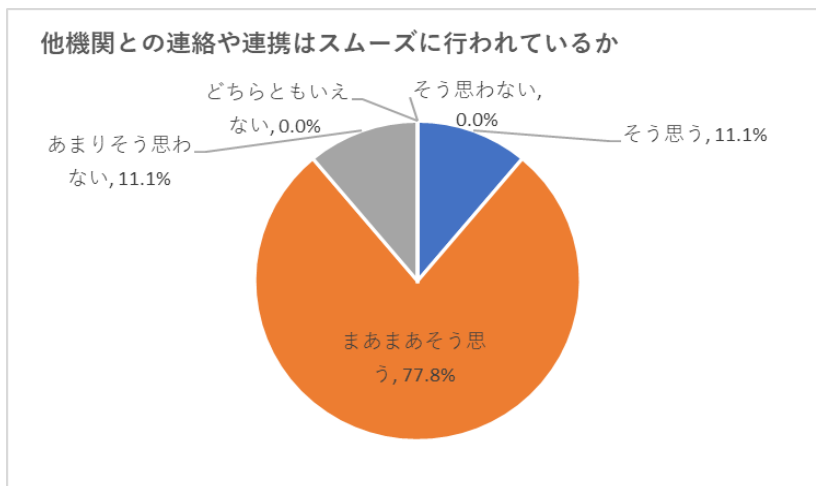
問1 貴機関が住民（利用者等）から受け付けた相談内容が、貴機関が主に関わる専門以外の分野の内容であったり、貴機関が通常関わる業務範囲以外の相談内容である場合、どのように対応していますか。（あてはまるものに○を2つまで）

選択肢	割合
直接担当する機関に連絡し、相談者と同行してつないでいる	29.4%
直接担当する機関に連絡し、相談者と同行せずにつないでいる	5.9%
市役所の担当部署に連絡している	23.5%
相談者に市の担当部署や相談先を伝え、相談者から直接担当部署へ相談してもらっている	23.5%
業務範囲以外の相談内容であっても、できる範囲で対応している	11.8%
その他の方法で対応している	5.9%
専門以外の相談を他の機関につないだり、業務範囲以外の相談に対応したりしていない	0.0%
計	100.0%



問2 相談者への支援にあたり、貴機関が他の相談支援機関や他の施設と連携する必要があるときに、連絡や連携はスムーズに行われていると思いますか。(あてはまるものに○)

選択肢	割合
そう思う	11.1%
まあまあそう思う	77.8%
あまりそう思わない	11.1%
そう思わない	0.0%
どちらともいえない	0.0%
計	100.0%



問3 問2で「3. あまりそう思わない」、「4.そう思わない」と回答した機関におうかがいします。その理由として最もあてはまるのは何ですか。

【回答】 連携先の業務に関する知識に乏しいため、連絡しづらい

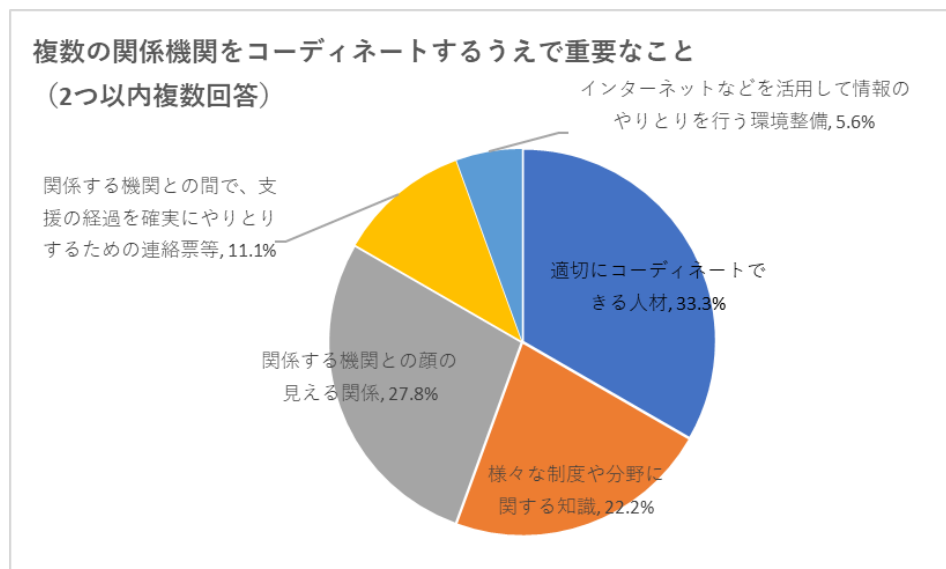
問4 最近、一人の相談者や一つの世帯で複数分野の課題を抱えるため、単独の相談支援機関のみで支援を行うことが困難なケースが増えてきています。

このような場合に、複数の関係機関をコーディネートする機関が必要と考えますか。(あてはまるものに○)

選択肢	回答数
必要である	9
必要ない(現状で対応できている)	0
計	9

問5 問4で「1.必要である」と回答した機関におうかがいします。コーディネートするうえで、どのようなことが重要と考えますか。(あてはまるものものに○を2つまで)

選択肢	回答数	割合
適切にコーディネートできる人材	6	33.3%
様々な制度や分野に関する知識	4	22.2%
関係する機関との顔の見える関係	5	27.8%
関係する機関との間で、支援の経過を確実にやりとりするための連絡票等	2	11.1%
インターネットなどを活用して情報のやりとりを行う環境整備	1	5.6%
その他	0	0.0%
計	18	100.0%



問6 問4で「2.必要ない(現状で対応できている)」と回答した機関におうかがいします。日常的な連絡調整以外で、他機関との支援調整を行う仕組み(会議等の開催など)があれば参考までにご教示ください。

【掲載省略】

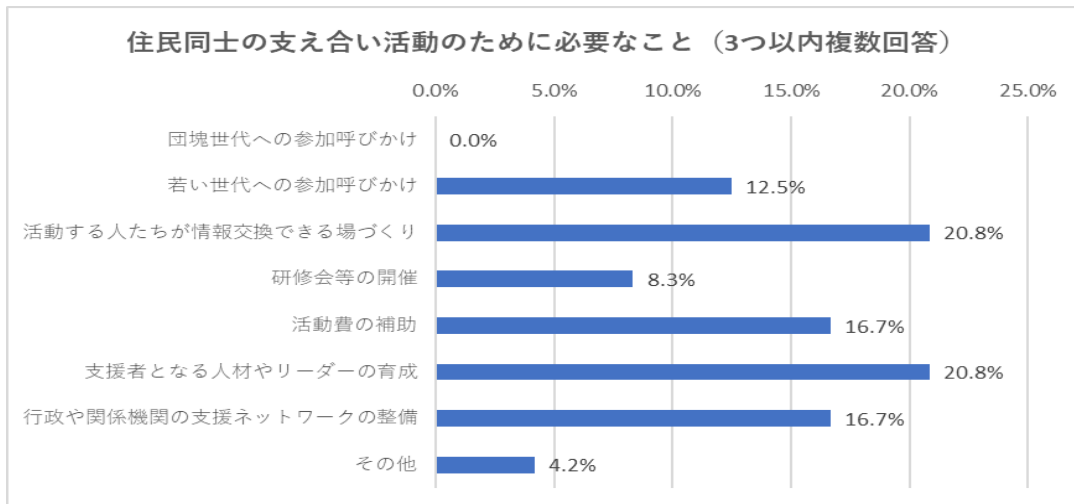
問7 貴機関でこれまで、複数分野の課題を抱えるケースに対し、関係機関と連携して対応した例があれば、一つのケースについて対応内容を下記に記入してください。

【掲載省略】

《Ⅱ 住民同士の支え合いなど地域福祉活動の推進についておうかがいします》

問 8 福祉制度の充実が求められる一方で、地域における「互助」の重要性も求められています。地域住民同士の支えあいによる活動の輪を広げていくために必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものに○を3つまで)

選択肢	回答数	割合
団塊世代への参加呼びかけ	0	0.0%
若い世代への参加呼びかけ	3	12.5%
活動する人たちが情報交換できる場づくり	5	20.8%
研修会等の開催	2	8.3%
活動費の補助	4	16.7%
支援者となる人材やリーダーの育成	5	20.8%
行政や関係機関の支援ネットワークの整備	4	16.7%
その他	1	4.2%
計	24	100.0%



問 9 誰もが安心してくらすことができる地域福祉の推進のために、特に優先して取り組むべきことは何だと思えますか。(あてはまるものに○を3つまで)

選択肢	回答数	割合
福祉に関する情報の提供	0	0.0%
身近な相談窓口の整備	5	18.5%
高齢者や障がいのある人への支援	1	3.7%
子どもや子育て世帯への支援	1	3.7%
孤立した人やひきこもりの人への支援	2	7.4%
経済的に困窮している人への支援	0	0.0%
自立した生活を送るための就労支援	1	3.7%
年金や保険、生活保護などの社会保障制度の充実	0	0.0%
健康づくりや介護予防の支援	1	3.7%
医療体制の充実	1	3.7%

こころの健康に関する支援	2	7.4%
認知症や障がいのある人の権利擁護	0	0.0%
福祉の心を育てる取り組み（福祉教育）	1	3.7%
ボランティアやNPO活動、地域活動等への支援や人材育成	2	7.4%
地域での支えあい活動の推進	1	3.7%
支援が必要な人を発見する取り組み	4	14.8%
住宅の確保や住環境の整備	0	0.0%
道路や公共施設のバリアフリー化	0	0.0%
公共交通の利便性向上や移動の支援（交通弱者への支援）	2	7.4%
防災対策や災害時に支援が必要な人への対応	2	7.4%
犯罪や事故のない安全なまちづくり	0	0.0%
犯罪をした者等の社会復帰支援	0	0.0%
虐待や差別の防止	1	3.7%
福祉に関わる団体や関係機関のネットワークづくり	0	0.0%
その他	0	0.0%

